

日立工業会報

第8号

平成12年11月25日

発行 日立工業高校同窓会

発行者 同窓会事務局

日立市城南町2-12-1

☎ 0294 (22) 1049

FAX 0294 (21) 4591

印刷所 協立印刷

☎ 0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 小林啓一



会員の皆様にはご家族を含めてご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。

会員の皆様のご協力で第八号の発行を迎えることになりました。各支部の近況報告など会員の皆様には大変喜ばれております。是非個人でも結構ですから寄稿下さるようお願いいたします。

去る六月十七日、同窓会の総会を開催いたし別記の平成十一年度の会務報告と同窓会および記念基金の決算及び平成十二年度の事業方針、予算をご承認いただきました。

特に昨年は、県教育委員会から

「サンライズ」事業の指定を受けて三年間の最終年度に当たり、学校から「何か子供達が元気になる事業をしたい。同窓会で是非後援して欲しい」旨の話があり、昨年十一月十日、小平会館でチャック・ウィルソン氏を招き「君も自分の人生やれよ」の講演会を開催したところ在校生の大変元気な姿を見ることができ参加した会員、父母の皆様も、今日の若者の行動が問題になっている社会の中でチャック氏の講演と合せて大変喜んでおり、良かったと思います。

部活動では陸上競技(駅伝競争)、スキー、定時制の体育競技が全国大会出場、また、陸上競技、サッカー、スキーが関東大会にそれぞれ出場し活躍しました。

昨年の総会でご承認いただいた後援会バスの運行について日立電鉄のご協力(特に同窓正社員)により格安に整備されました。安心してバスの使用されることになりました。

これは、大変悲しいことでありますが、昨年の東海村のJCO事故で会員の篠原理人さんが不幸に遭われました。前例がないのですが、会として対応させて戴きました。心から悔やみ申し上げます。その後原子力関連施設に働く同窓の人々や同級生の仲間達をご家族のフォローをしていると仄聞しております。二度とこのようなことがないことを念じます。

会員の皆様のご健勝とご活躍を期待する次第です。

学校長挨拶

学校長 益子宗明



同窓会の皆様には、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。常日頃から本校教育のために、深いご理解と多大なるご支援ご協力をいただいておりますことを衷心より深く感謝申し上げます。四月の定期人事異動により高萩工業高校から赴任して参りました。伝統ある日立工業高校に奉職できますこと

とは、私の大きな喜びであります。前任者は水戸工業へ、全定教頭はそれぞれ高萩工業、山方商業の校長へと栄転いたしました。後任として細貝、関岡教頭が赴任いたしました。前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

さて本校も、創立以来五八年を経て益々充実した教育活動を展開しているところでございます。今後も基礎的・基本的な事項を重視しながら資格取得及び部活動を勧め、一人一人の個性・能力に応じた学習指導を展開し、就職及び進学に対応した教育活動を進めてまいりたいと思っております。昨年度の就職状況は厳しい経済状況の中でしたがほぼ百パーセントの決定をみ、四年生大学へも四一名が進学いたしました。資格取得については、例年延べほぼ全員が何らかの資格を取得しております。また昨年度自動車部が県高校省エネカー大会において一、四六八km毎リットルの好成绩をあげ優勝いたしました。今年度は陸上部の関東大会出場のみですが、部活動加入率も五三%と、多くの生徒が日々厳しい練習に取り組んでおり、今後が期待されるところでございます。

少子化の進む中で高校教育も大きな転換期にあります。今年度は